

あいかわ 議会だより

第 172 号

令和4年2月15日発行

責任者 議会議長 渡辺 基
年4回発行・本号14ページ



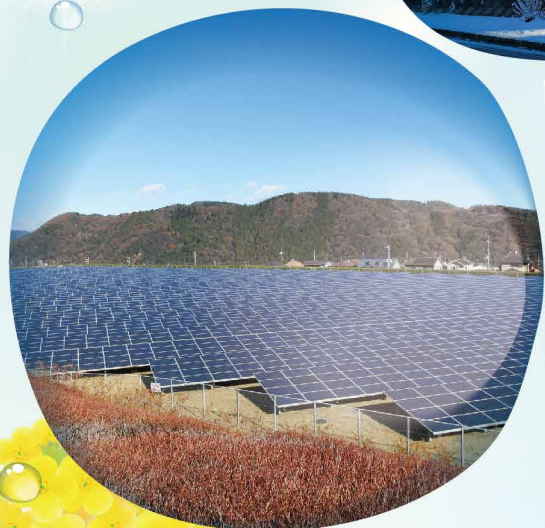
八菅の展望



角田から見た中津川



両向から見た仏果山の雪景色



太陽がいっぱい（愛川ソーラーパーク：半原）



六倉から見た相模川沿岸、遠くには秩父連山

秋から冬の
町の風景
～議員撮影～

- ・子育て世帯への臨時特別給付金に係る補正予算を可決 P.2・3
- ・議員提出議案 議員報酬等の減額に関する条例を可決 P.2
- ・神奈川県議会議員選挙区の合区の検討に関する要望書を提出 P.11

議会クイズ 抽選で3名の方に
商品券が当たる！

スマホで簡単応募

詳しくはP13をご覧ください



〈第4回12月定例会・第1回1月臨時会〉

令和4年2月15日

2022
愛川町議会

令和3年第4回愛川町議会「12月定例会」が、11月30日から12月14日まで、会期15日間（本会議開催日4日間）にわたり開催され、条例の一部改正や補正予算など、8件の町長提出議案、1件の議員提出議案について審議し、全議案を可決するとともに、6件の陳情を審議しました。

また、令和4年第1回「1月臨時会」は1月6日に開催され、補正予算に関する2件の町長提出議案を審議し、全議案を承認・可決しました。

令和3年第4回12月定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
11	30	火	本会議	陳情の委員会付託 町長提出議案の説明、 質疑、討論、採決 議員提出議案の説明、 質疑、討論、採決 町長提出議案の説明
12	2	木	本会議	一般質問（6人）
	3	金	本会議	一般質問（4人）
	8	水	総務建設 常任委員会	付託案件の審査、所管 事務の調査
	9	木	教育民生 常任委員会	付託案件の審査、所管 事務の調査
12	14	火	本会議	町長提出議案の質疑、 討論、採決 付託案件の審査結果の 委員長報告、質疑、討論、 採決

令和4年第1回1月臨時会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
1	6	木	本会議	町長提出議案の説明、 質疑、討論、採決

12月定例会

条例議案

◎愛川町職員の給与に関する条例及び愛川町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正

（賛成12人、反対3人）

人事院勧告及び神奈川県人事委員会勧告を踏まえ、一般職の職員、再任用職員及び特定任期付き職員の給与改定を行う一部改正条例を可決したものです。

【施行期日】

令和3年12月1日

◎愛川町長等常勤の特別職の給与に関する条例の一部改正

（賛成全員）

補正予算

◎令和3年度愛川町一般会計補正予算（第6号）

（賛成全員）

一般職員の給与改定に準拠し、常勤特別職（町長、副町長及び教育長）の期末手当の支給割合の改定を行う一部改正条例を可決したものです。

【施行期日】

令和3年12月1日

◎愛川町税条例の一部改正

（賛成全員）

一定の環境性能を有する軽自動車に対して、特例税率を課するグリーン化特例について、対象車両を一部限定するとともに、新たな燃費基準を導入した上で、特例税率を適用するものです。

【施行期日 公布の日】

◎令和3年度愛川町一般会計補正予算（第7号）

（賛成全員）

歳入歳出予算の総額に

歳入歳出それぞれ359万9千円を追加し、一般会計の総額を139億3,217万3千円としたものです。

主な内容は、田代運動公園複合遊具整備事業費のほか、「GIGAスクール構想」に基づく家庭学習を推進するため、自宅に通信環境のない家庭へ貸し出す、Wi-Fiルーター220台分の購入費です。



各家庭の通信環境の整備に努めます

事件議案

◎令和3年度愛川町介護保険特別会計補正予算（第1号）

（賛成全員）

◎町道路線の廃止及び認定について

一般交通の用途に供する必要がなくなった路線や新たに町道として管理する必要が生じた路線について、町道路線の廃止及び認定をします。

【施行期日】

令和3年12月1日

令和3年12月期末手当減額措置

（円）

12月に期末手当を支給した額①	当初支給を予定していた額②	削減額①－②
13,886,730	14,890,590	△1,003,860



◎愛川町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正

（賛成全員）

町一般職及び常勤特別職に準拠し、町議会議員の期末手当及び年間の支給割合の改定（減額）を行う一部改正条例を可決したものです。

議員提出議案



田代球場の西側に、すべり台やのぼり棒などの遊具で構成される複合遊具を設置します。(4月下旬完成予定)

■複合遊具の設置箇所について ほか

田代運動公園複合遊具整備事業費

12月14日の本会議では、条例及び補正予算議案を対象に、井上議員、茅議員、鈴木議員、小林議員、玉利議員、山中議員の6名が個人総括質疑を行いました。質疑項目の一部を紹介します。

個人総括質疑

生活習慣病検診

事業費増額

■増額の詳細について



給食施設維持

管理経費増額

■増額の詳細について

情報教育推進

事業費増額

■増額の詳細について

財政調整基金

積立金増額

■増額の理由について

介護保険事業運営

基金積立金増額

■増額の理由について

1月臨時会

専決処分の承認

◎令和3年度愛川町一般会計補正予算(第8号)

(賛成全員)

子育て世帯への臨時特別給付金について、昨年11月19日時点での国の方針では、児童1人につき総額10万円のうち、現金5万円を先行して年内に給付し、残る5万円は春の進学などの準備に向けて、クーポン方式による給付を予定していました。しかしながら、その後、現金10万円一括給付が容認されたことにより、本町においても、速やかに子育て世帯へ全額を一括で給付するため、専決処分を承認したものです。

■補正額の詳細は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億6,545万2千円を追加し、一般会計の総額を141億9,762万5千円としたものです。

補正予算

◎令和3年度愛川町一般会計補正予算(第9号)

(賛成全員)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4億7,438万7千円を追加し、一般会計の総額を146億7,201万2千円としたものです。

■主な内容は、住民税非課税世帯や家計急変世帯に対する、1世帯当たり10万円の臨時特別給付金の給付に係る経費です。

また、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用した町独自の支援策である「中小企業・個人事業者支援金(第2弾)」に関する経費について、支出額が国からの交付金の額に達しない見込みとなり、この国庫補助財源を有効活用するため、町内の公共施設や小中学校の新たな感染防止対策経費として組み替えたものです。



空気清浄機
(写真はイメージです)

経費の主な内容は、空気清浄機、避難所用に備蓄するパーテーション及び救急活動に使用する感染防止衣の消耗品などです。

『マチイロ』アプリの紹介

本町を含む各自治体の広報紙を閲覧できる無料アプリ『マチイロ』でも「議会議だよりあいかわ」をお届けしています。スマートフォンやタブレットなどで、手軽にご覧になることができます。左記にあるQRコードから専用ページにリンクしますのでぜひご利用ください。



第21回議会クイズの答えと当選者

前号の議会クイズには13名の応募をいただきました。正解と当選者は次のとおりです。

〈正解〉

問1・③11月5日
問2・③議員提出
問3・①46%
第4号

〈当選者〉

伊從 綾子 様
脇嶋 真二 様
木村 舞 様
以上3名

議会議だよりは、愛川町録音ボランティアグループ「かえでの会」のご協力により、視覚障がい者用にCD化されています。

ご希望の方は、社会福祉協議会へご連絡ください。

TEL 046・285・2111
(内線3792)

令和3年 第4回12月定例会 議決一覧表

●全会一致の議案

議案番号	案 件	議決結果
町長提出 第67号	愛川町長等常勤の特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出 第68号	愛川町税条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出 第69号	令和3年度愛川町一般会計補正予算（第7号）	可 決
町長提出 第70号	令和3年度愛川町介護保険特別会計補正予算（第1号）	可 決
町長提出 第71号	町道路線の廃止について	可 決
町長提出 第72号	町道路線の認定について	可 決
町長提出 第73号	令和3年度愛川町一般会計補正予算（第6号）	可 決
議員提出 第5号	愛川町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決

※町長提出第69号議案・第73号議案については、議決の順番が前後したことにより、議決後に計数整理を行っています。

●意見が分かれた議案

○…賛成、●…反対

議案番号	議員名 議案等の件名	公明党			日本共産党 愛川町議員団			あいかわの聲		令和 あいかわ			あすかみらい			無所属 佐藤 茂	議決結果
		井出 一己	佐藤 りえ	岸上 敦子	鈴木 信一	井上 博明	小林 敬子	熊坂 崇徳	渡辺 基	玉利 優	阿部 隆之	馬場 孝之	茅 孝之	山中 正樹	小島 総一郎	木下 眞樹子	
町長提出 第66号	愛川町職員の給与に関する条例及び愛川町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	●	●	●	○		○	○	○	○	○	○	○	可 決
陳 情 第7号	安全・安心の医療・介護・福祉を実現し国民のいのちと健康を守るための陳情	○	○	○	● (採択)	● (採択)	● (採択)	○	議長は採決に加わりません	○	○	○	○	○	○	○	趣旨了承
陳 情 第8号	介護施設の人員配置基準等の引き上げのために、国に対し意見書の提出を求める陳情	○	○	○	● (採択)	● (採択)	● (採択)	○		○	○	○	○	○	○	○	趣旨了承
陳 情 第9号	精神保健福祉の改善に関する陳情	○	○	○	● (採択)	● (採択)	● (採択)	○		○	○	○	○	○	● (採択)	● (採択)	趣旨了承
陳 情 第10号	国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	○	○	○	● (採択)	● (採択)	● (採択)	○		○	○	○	○	○	● (採択)	● (採択)	趣旨了承
陳 情 第11号	神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	○	○	○	● (採択)	● (採択)	● (採択)	○		○	○	○	○	○	○	○	趣旨了承
陳 情 第12号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	●	●	●	○	○	○	●		●	●	●	●	○	○	○	不採択

※陳情7号から第11号までについては、委員長報告の「趣旨了承」に対する賛否です。

令和4年 第1回1月臨時会 議決一覧表

●全会一致の議案

議案番号	案 件	議決結果
町長提出 第1号	専決処分の承認について（令和3年度愛川町一般会計補正予算（第8号））	承認
町長提出 第2号	令和3年度愛川町一般会計補正予算（第9号）	可 決

陳情のゆくえ

受理番号	受理年月日	件名	陳情者	付託先	審査結果
7	R3.11.4	安全・安心の医療・介護・福祉を実現し国民のいのちと健康を守るための陳情	横浜市中区桜木町3-9 横浜平和と労働会館3階 神奈川県医療労働組合連合会 執行委員長 古岡 孝広	教育民生常任委員会	趣旨了承
8	R3.11.4	介護施設の人員配置基準等の引き上げのために、国に対し意見書の提出を求める陳情	横浜市中区桜木町3-9 横浜平和と労働会館3階 神奈川県医療労働組合連合会 執行委員長 古岡 孝広	教育民生常任委員会	趣旨了承
9	R3.11.4	精神保健福祉の改善に関する陳情	横浜市中区桜木町3-9 横浜平和と労働会館3階 神奈川県医療労働組合連合会 執行委員長 古岡 孝広	教育民生常任委員会	趣旨了承
10	R3.11.4	国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	横浜市中区桜木町3-9 横浜平和と労働会館4階 神奈川私学助成をすすめる会 代表 長谷川 正利	教育民生常任委員会	趣旨了承
11	R3.11.4	神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	横浜市中区桜木町3-9 横浜平和と労働会館4階 神奈川私学助成をすすめる会 代表 長谷川 正利	教育民生常任委員会	趣旨了承
12	R3.11.8	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	横浜市中区桜木町3-9 横浜平和と労働会館6階 神奈川県労働組合総連合 議長 住谷 和典	総務建設常任委員会	不採択
13	R3.11.8	八菅修験道の塩川大滝や石神社を火渡り行事と結び共に観光整備を求める陳情	厚木市鳶尾2-26-8ベルフラワー202 内木 良	—	机上配付
14	R3.11.8	愛川町に在住された四元義隆先生の調査宣伝後生への伝承を求める陳情	厚木市鳶尾2-26-8ベルフラワー202 内木 良	—	机上配付
15	R3.11.8	愛川町に在住された大川周明先生の調査宣伝後生への伝承を求める陳情	厚木市鳶尾2-26-8ベルフラワー202 内木 良	—	机上配付
16	R3.11.8	障害者雇用促進法の法定雇用率の厳格な施行を国に求める陳情	厚木市鳶尾2-26-8ベルフラワー202 内木 良	—	机上配付
17	R3.11.8	日本のミサイル防衛を無力化した極超音速ミサイルに対する対策を国に求める陳情	厚木市鳶尾2-26-8ベルフラワー202 内木 良	—	机上配付

教育民生常任委員会

1月21日に、第3次愛川町障がい者計画、令和3年度国民健康保険税の減免制度についての事業説明を受けました。

また、図書除菌機（町図書館）、愛川中学校プールポンプ交換工事、スカットボールセット（諏訪老人いこいの家）、中津第二小学校体育館トイレ改修工事について、現地調査を行いました。



事業説明の様子



愛川中学校プール用ポンプ交換工事の現地調査

総務建設常任委員会

1月14日に、小中学生とのオンラインミーティング、リモートワーク検証委託料、防災資機材整備事業費についての説明を受けました。

また、警防活動備品（根切りチェーンソー・胴付安全長靴等）購入費、八菅橋観光トイレ洋式化改修工事、峰の原農道改修工事について、現地調査を行いました。



警防活動備品の現地調査

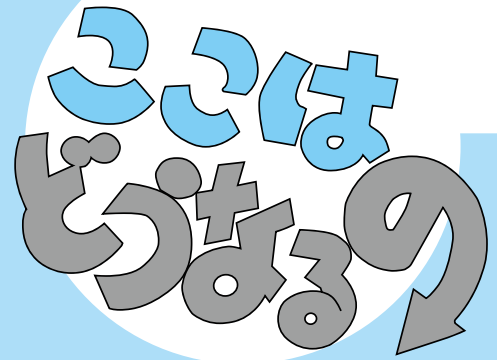


八菅橋観光トイレの現地調査

常任委員会 1月所管事務調査

地方分権の進展に伴い、行政が行う事務が専門化している中、常任委員会が所管する事項について調査をするため、所管事務調査を実施しました。

一般質問



紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。詳しくは役場等に備え付けてある「会議録」をご覧ください。インターネットでもご覧になれます。
なお、12月定例会の会議録は、3月中には閲覧できる予定です。

※各議員の写真の横にあるQRコードを読み込むと、本会議での質問動画がスマートフォンやタブレット端末でご覧になれます。

茅 孝之 議員 P.6

・誰もが働きたくなる愛川町役場の環境づくりについて

玉利 優 議員 P.9

・子宮頸がんへの認識について ほか

鈴木 信一 議員 P.7

・ジェンダー平等社会の推進について ほか

阿部 隆之 議員 P.9

・希望に満ちたまちづくり ほか

井上 博明 議員 P.7

・文化財行政について ほか

山中 正樹 議員 P.10

・次世代有機農業について

岸上 敦子 議員 P.8

・産前・産後の支援について ほか

井出 一己 議員 P.10

・交通安全対策について

小林 敬子 議員 P.8

・持続ある地域農業について ほか

熊坂 崇徳 議員 P.11

・SDGsのまちづくりについて ほか



©愛川町

町長 昨今は、行政へのニーズがますます複雑、多岐にわたり、職員個々が担う業務の量や質も従前に比べ多様化しています。職員が心身共に健康で意欲的に仕事に取り組むためにも、働きやすい職場の環境づくりに努めていきたいと考えています。

業務の多様化 働きやすく改善

問 まちづくりの原動力は役場職員であり、職場環境の充実に図ることが、町民サービスの向上につながると考えます。そこで、職場環境の現状と課題について伺います。

職場環境の充実へ 原動力は役場職員



茅 孝之 議員



働きやすい環境づくりに努めていきます

町長 職員個々の資質の向上を図りながら、業務に対するモチベーションを高めていくことが行政

行政運営の基本と認識 質の高い人材育成

に、仕事に対する喜びや誇り、やりがいなどを喚起することにより、モチベーション向上につなげていきたいと考えています。

問 誰もが働きたいと思う役場を作り上げることが、職員のモチベーションを高め、より町民サービスの向上へつながるものと考えます。そこで、職員のモチベーション向上につなげる取り組みについて伺います。

職員のモチベーション向上へ

運営の基本であると認識しています。

そのため、風通しのよい職場づくりと併せ、業務の平準化、効率化を一層進め、長時間労働の抑制やワーク・ライフ・バランスが確保できる環境づくりに努力しています。

町長 宣言を表明する以上、具体的に率先的な施策を打ち出し、実効性のあるものにしていかねばならないものと考えていることから、現時点において宣言を行う考えはありません。

具体的施策必要 現時点ではない

問 地球温暖化に対する危機感を共有するために、「気候非常事態宣言」を行う自治体が増えていいます。そこで、本町でも「気候非常事態宣言」を行う考えについて伺います。

気候非常事態宣言 行う考えは



鈴木 信一 議員



※パートナーシップ制度とは：各自治体が同性同士のカップルを婚姻に相当する関係と認め、証明書を発行する制度。



町長 本町では要綱を作成し、新年度にはスタートさせたいと考えています。なお、この制度は効力がそれぞれの自治体の中に

【その他の質問項目】
防災・減災対策について

限られていることもあり、宣誓した二人が自治体をまたいで引っ越しをした場合などには、転出元に宣誓書の受領証などを返却し、転入先には新たな宣誓書などの書類を提出する必要があります。したがって、現在、広域的な取り組みとして、厚木市や清川村と組織する『厚木・愛甲まちづくり研究会』において、調整を進めているところです。

問 平成11年に男女平等参画基本法が制定されて22年が経過しました。しかし、我が国のジェンダーギャップ指数は世界156カ国中120位と極めて低い状況にあります。そこで、パートナーシップ制度導入の考えについて伺います。

新年度にスタートへ 厚木・清川と調整中

※ パートナーシップ制度の導入

買い物弱者支援策 現状の取り組みは



井上 博明 議員



問 本町の買い物弱者支援策に関する現状の取り組みについて伺います。

新たな支援策 検討を進める

町長 高齢者バス割引乗車券の購入費助成事業などをはじめ、高齢者タクシー助成事業（年齢制限有）の実施や、町内循環バスの運行ルートの見直しを行い、大型店舗への乗り入れを加えるなど、外出機会拡大の支援に努めています。また、官民協働による新たな外出支援策の検討も進めており、今後は全国の取組事例も参考に取組んでいきます。



「旧半原小学校木造校舎」



特別授業の様子

町長 昨年の11月には、この懐かしの学び舎を活用し、半原在住の戦争体験者の方から、戦時中の学校生活や食事、疎開の様子などについて講話をいただき、参加した児童たちは、実体験に基づい

【その他の質問項目】
町長の政治姿勢について

町内の全小学校 様々な授業を展開

問 「旧半原小学校木造校舎」懐かしの学び舎事業がスタートし、マスコミも多く取り上げましたが、今後の具体的な活用方策について伺います。

た話を聞くことができ、貴重な機会となったようです。

今後は、町内の全小学校でこの学び舎を活用し、子どもたちのためにも、大切な思い出の場にしていきたいと考えています。

さらに、町外の小学生が多く訪れる愛川繊維会館や県立愛川ふれあいの村などと連携を図りながら、周辺施設との周遊性やその活用についても調整していきたいと考えています。

「旧半原小木造校舎」今後の活用は

**産後ケアの支援
今後の取り組み**



岸上 敦子 議員

問 本町における産後ケアの支援と今後の取り組みについて伺います。

答 寄り添いながら対応
不安解消支援の実施



町で交付している母子健康手帳

※HSCとは：Highly sensitive childの略で「非常に敏感な子ども」の意味。

感覚過敏（HSC）の認識と周知

問 感覚過敏（HSC）の認識と周知について伺います。

高めるための周知を図っていきたくと考えています。また、小・中学校などの学校現場では、保護者との教育相談や児童・生徒の健康観察などから状況を把握し、スクールカウンセラーや養護教諭、学級担任を中心に特性に応じた対応をすることで、すべてのお子さんが過剰しやすい環境となるよう努めていきたくと考えています。

**周囲が性格を理解
健診・相談の周知**

町長 新生児訪問時に個別の対応が必要であると思われる方には、電話相談や面談等を行い、継続的に寄り添いながら対応をしています。今後も町広報紙等への掲載をはじめ、出生届の提出時や新生児訪問時における案内など引き続き周知に努め、利用者の不安解消などにつながる支援事業を実施していきたくと考えています。

**新規就農者の確保
農業体験等の実施**



小林 敬子 議員

問 新規就農者確保のために一定期間の農業体験等を実施する考えについて伺います。

答 志すきっかけになる
直接要因としては難

環境経済部長 農業体験は、農業を志すきっかけづくりにつながるものと考えますが、その後の就農に至るまでの知識や技術の習得といった取り組みも重要であるため、新規就農者の確保に向けた直接的な要因となることはなかなか難しいのではないかと考えます。

認知症予防カフェ現状と今後

問 認知症予防カフェ支援事業の現状と今後の展開について伺います。

答 住民協働事業に助成
養成講座で普及啓発

さらに、本年度より補助制度を創設し、認知症カフェの立ち上げから自立するまでの一定期間、運営費の一部を助成しているものです。

町長 認知症の方とその家族への環境整備の実現に向け、これまでもカフェの設置に取り組む団体に対して支援を行い、平成30年度には住民提案型協働事業を活用し、春日台にカフェが開設されました。

民生部長 今後、新たな認知症予防カフェが設置されたときには、運営費の一部助成に加え、認知症サポーター養成講座等での普及啓発を通じて、取り組みが進むよう引き続き努めていきます。



町長 DXの浸透は世界的な潮流で、本町もその推進が重要であると認識していることから、小・中学校のICT教育のほか、メール配信等の情報発信に取り組んでいます。また、国のDX推進計画では諸手続きのオンライン化のため、運用方法を検討しているとのこと

DXの浸透は世界的オンライン運用検討

問 世の中が急速にデジタル化し、DXへの取り組みが広がっています。そこで本町の認識と対応について伺います。

デジタル化認識と対応



玉利 優 議員

町長 子宮頸がんワクチンについては、定期接種の対象とされて以降、ワクチンとの因果関係が不明な健康被害の報告があったことから、積極的な接種勧奨をすべきではないとされました。

健康被害を救済相談体制の検討

問 子宮頸がんワクチンは、かつて副反応の問題が起き、勧奨が中止され、今日に至ります。そのため、ワクチン接種への期待と不安とが交錯しています。そこで、ワクチンの安全性や被害者の救済について伺います。

子宮頸がんワクチンへの対応

※DX（デジタルトランスフォーメーション）とは：進化したデジタル技術を浸透させることで、人々の生活を良いものへと変革すること。



しかし、昨年10月に厚生労働省から、公費接種できることや、その有効性、安全性を周知するよう要請があったため、本町でも対象者に周知したところであり、定期接種の子宮頸がんワクチンの副反応による健康被害が生じた場合は、予防接種法に基づく救済を受けることができます。

町長 土地の所有者が行う対策工事などへの補助制度について検討を進めてきました。そのような中、決議が全議員賛成のもとで可決された結果を真摯に受け止め、新年度を目前に制度化に向けた準備を行っています。

結果を真摯に受止め制度化に向けた準備

問 令和3年6月議会において、議員提出議案「急傾斜地崩壊対策事業の積極的な推進を求める決議」が可決しました。そこで決議に対するその後の対応について伺います。

急傾斜地崩壊対策議会決議への対応



阿部 隆之 議員

希望に満ちたまちづくり

問 コロナ禍により、現在の混沌とした状況から抜け出したい、そして明るく希望に満ちた愛川町の未来を多くの町民が望んでいるはずです。そこで町長が目指す、コロナ禍を越えた未来のまちづくりについて伺います。

持続可能な健全財政笑顔のあふれるまち

町長 笑顔の絶えないまちづくりを進めていきたいと考えています。

持続可能な健全財政を引き続き堅持しつつ、防災・減災への対応にしっかりと取り組み、地方創生を推進していくための様々な施策を推し進めます。また、時代にあった魅力ある施策を積極的に展開しながら、新たな出会いや賑わいを生み出す多彩な交流を実施して、町民の皆さんが生き生きと暮らし、笑顔のあふれるまちづくりにつなげていきたいと考えています。



「みどりの食糧システム戦略」次世代有機農業農地拡大の取組



山中 正樹 議員



問

農林水産省の「みどりの食糧システム戦略」の目標は、①有機農業の取組面積を拡大②次世代有機農業技術の確立です。そこで、本町の取組みについて伺います。

2050年までに25%
緑肥活用への支援

町長 国の戦略では、2040年までに化学農薬・肥料に頼らない技術確立し、2050年までに有機農業の取組面積の割合25%、100万ヘクタールへ拡大を目指しています。本町では、持続可能な協議会に参画し、緑肥活用への支援に努めています。

※緑肥とは：栽培した植物を腐らせずに土壌に入れて耕し、肥料にすること。土壌中に栄養分を放出する効果など、堆肥では得られないメリットがある。



畑の向こうに山々

耕地面積割合と指導者人材

問

国内の有機農業の耕地面積の現況が2万3,500ヘクタールなので、この30年で40倍以上に拡大することになります。そこで、現況における本町の耕作地面積に対する有機農業の農地の割合と指導者になる人材はいるのか伺います。

約15ha割合は4.3%
研修生10名を受入れ

農政課長 町内の農地利用ですが、耕作地の面積

は約350ヘクタールです。このうち、有機農業者が耕作している農地面積の状況は、全体で約15ヘクタールであり、耕作地の面積に対する割合は、約4.3%となっています。

人材については、現在、農業次世代人材投資資金の研修受入先に1名が認定され、当該農業者に確認したところ、10名の研修生を受け入れていることです。

飲酒運転の撲滅本町の取り組み



井出 一己 議員



問

千葉県で起きた児童5人が死傷した事故は、飲酒運転が原因です。道路交通法の改正で、飲酒運転者への厳罰化は進みましたが、本町の飲酒運転撲滅に向けた取り組みについて伺います。

※ハンドルキーパー
啓発活動に努める

町長 飲酒運転根絶強化月間であり、12月には、町交通指導隊による街頭キャンペーンや、厚木警察署員とともにハンドルキーパー運動を実施するなど飲酒運転根絶の啓発活動に努めています。

※ハンドルキーパー運動とは：車で飲食店へ行く場合に、お酒を飲まない人(ハンドルキーパー)を決め、その人が、仲間を自宅まで送り届ける運動。



学校での飲酒運転防止の教育

問

飲酒運転撲滅のためには、将来のドライバーである児童・生徒にも早期教育が求められており、学校教育が果たす役割には大きなものがあると思います。そこで、小中学校における飲酒運転防止に関する指導について伺います。

発達に応じた影響
危険性の理解に取組

町長 飲酒の害については、小中学校の保健の授業の中で、健康な生活と病気の予防の観点から指導しています。さらに、

特別活動や道徳の授業でも社会のルールを守ることや、かけがえのない命を尊重することなど横断的・総合的に関連づけて指導しています。

児童・生徒は将来のドライバーでもあることから、発達段階に応じて、飲酒による体への影響や飲酒運転の悪質性、危険性について理解させるとともに、法やきまりを守ろうとする気持ちや育むことが重要であると認識していますので、将来の飲酒運転防止につながれるよう努めていきたいと考えています。

教育長 本町が進めている小中一貫教育において、愛川町グローバル教育を推進の柱として、国際理解などにより、他者との関係性や社会との関係性、さらには自然環境との関係性を高め、グローバル社会の中で求められる資質・能力の育成に努めています。

グローバル教育の推進 国際理解や環境学習

問 新学習指導要領が全面实施され、「持続可能な社会の創り手」の育成について明記されましたが、小中学校でのSDGs教育について伺います。

新学習指導要領 ※SDGsの教育



熊坂 崇徳 議員



※SDGsとは：2015年の国連サミットにおいて全会一致で採択された、国際社会全体が取り組む目標。17のゴールとそれをさらに具体化した数値目標を含む169のターゲットが採択され、「地球上の誰一人として取り残さない」ことを誓い、2030年までに達成することを目指している。



問 国は、自治体がSDGsを活用することで、特に注力すべき政策課題の明確化等が実現するとしています。そこで、本町のSDGsの取り組みについて伺います。

持続可能な地域社会 定住環境の向上

町長 若い世代が結婚、出産、子育てをしやすい環境づくり等を位置づけた「愛川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の

第1期計画を着実に推進してきました。

令和元年度改定の第2期計画では、人や仕事の可能性を育み伸ばすことに焦点を当て、SDGsの理念に沿った取り組みを進めています。

現在策定作業を進めている第6次総合計画では、SDGsをはじめ、最新の国際情勢等を踏まえた先駆的な取り組みを位置づけ、推進していく必要があると認識しています。

本町のSDGsの取組み

神奈川県議会議員選挙区の合区の検討に関する要望書を 県議会(議長・各党派)へ提出しました

神奈川県議会議員選挙区の合区の検討に関する要望書

公職選挙法では、都道府県議会議員の選挙区の人口が議員一人当たりの人口の半数未満となった場合は、隣接する他の市町村の区域と合わせて一選挙区を設けることができるとされています。

2020年国勢調査の速報値によれば、神奈川県議会の議員一人当たりの人口は88,003人で、この半数に満たない県下3選挙区(三浦市、足柄下、愛川町・清川村)が選挙区再編の対象となつていくとの報道がありました。都市部と郡部との二極化が進む中で、単に人口要件のみで選挙区を決めることは、地域代表としての県議会議員と住民との関係が希薄化し、今後、県との距離が広がり、郡部の声が届きにくくなるのではないかと、非常に強い危機感を持っております。

愛川町・清川村選挙区においては、宮ヶ瀬ダムを中心に多くの観光客を迎え入れているとともに、神奈川県の水源地域として、県全体の発展の礎としての施策にも積極的に取り組んでまいりました。また、近年では全国的な課題である少子高齢化などにより、人口減少傾向となっておりますが、過去には宮ヶ瀬ダムの建設に伴い、多くの住民が選挙区外へ移転したという経緯もあります。

県全体を見据え、県民の多様な意見を県政に反映させる見地から、人口減少や地域経済の活性化などの様々な課題に対し、民意を速やかに県政に反映させるため、これまでどおりの地域代表を確保することが必要であると考えます。以上のことから、選挙区再編にあたっては、未来の神奈川県議会の展望や施策、歴史的に形成され存在してきた地理的なつながり、住民生活、文化、行政連携など、地域の実情や特性を考慮し、意見を聴取する場を設けるなど、慎重にご審議いただきますようお願いいたします。

令和3年12月13日

愛川町議会議長 渡辺 基
清川村議会議長 細野 洋一



左から
渡辺愛川町議会議長、
小島神奈川県議会議長、
細野清川村議会議長

議会クイズに多くの方からご意見をいただきました

議会クイズに、毎号多くの皆様からご応募をいただいております。第168号（18回議会クイズ）から第171号（21回議会クイズ）までに寄せられたご意見、ご感想を一部紹介します。



第168号
(愛川中学校美術部)



第169号
(愛川中原中学校美術部)



第170号
(愛川東中学校美術部)



第171号
(議員撮影)

今の時代は高齢化が進んでいるので、じいじばあば券が配布されるのはとても大きいと思います。他にも、今の時期はコロナ禍なので、受験生の私もオンライン授業などがあればとても助かります。
(10代 女性)

表紙の写真がいつもキャッチーで見るのが楽しみです！内容については、知っている言葉や身近な記事については興味深く読ませていただいています。
(30代 女性)

表紙がとても素敵で、普段読まない人も思わず開きたくなるような表紙でした。愛川東中学校美術部紹介も良かったです。(40代 女性)

愛川中学校の記事が大変良かったです。若い頃を思い出しました。
(40代 男性)

一般質問が人別に動画視聴できるのは良いと思います。自然豊かなこの町から、人が減って行くのは本当に寂しいですね。コロナの影響で、人々の生活も随分変わったと思います。デジタル化への取り組み、LINE@の広がり期待したいです。(60代 女性)

正直、普段は議会だよりを読む事はないのですが今回は表紙（愛川中原中学校）の可愛らしさに惹かれて読んでみました。やはり今の愛川町の状況などは知っておかないといけませんね。(50代 女性)

このほかにもたくさんのご意見、ご感想をいただいております。より良い紙面づくりに活かしてまいりますので、今後ともご応募お待ちしております。



©愛川町

可愛い表紙ではじまり、中身も読みやすく拝見させていただきました。一番の楽しみはクイズをすることです。今回も楽しめました。(70代 女性)

町には急斜地が多くありますので、崩壊対策が検討されたことは適切ですね。
(80代 男性)

第22回 議会クイズ

問1 神奈川県議会議員選挙区の合区の検討に関する要望書はどこに提出したでしょうか？

- ①日本政府 ②神奈川県議会 ③愛川町議会

問2 議員研修会の講師は、「渋澤栄一」の何にあたるでしょうか？

- ①子 ②孫 ③玄孫

問3 議員との意見交換会はいつ開催予定でしょうか？

- ①5月20日 ②6月20日 ③7月20日

クイズの答えはこの議会だよりのどこかにあります。正解者の中から抽選で3名の方に商品券をお贈りします♪たくさんのご応募をお待ちしています！



©愛川町

※第21回クイズの答えと当選者はP.3に記載してあります。

《応募方法》 町内在住の方で、1人1通に限ります。クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号、また必ず議会だよりの感想等をご記入のうえ、下記あて先のいずれかの方法で応募してください。紙面の見やすさなどについてもご意見をお聞かせください。

《しめきり》 2月28日（月）（郵送の場合は当日消印有効）

☆正解と当選者は次号で発表します。

《あて先》 ●はがきの場合 〒243-0392
角田251-1 議会事務局
●ファクスの場合 046-286-5021
●電子メールの場合 gikai@town.aikawa.kanagawa.jp

●オンラインの場合
右記のQRコード
を活用して、応募
ができます。



講師

コモンス投信株式会社
取締役会長

渋澤 健氏
(栄一の玄孫)

内容

「渋澤栄一の
『論語と算盤』で
未来を拓く」

令和3年11月30日（火）に町役場において、次のとおり議員研修会を開催しました。
（神奈川県町村議会議長会からの動画配信提供による）

議員研修会

令和4年第1回3月定例会日程(予定)

月	日	曜	会議名
	1	火	本会議 (施政方針・提出議案の説明)
	3	木	本会議(一般質問)
	4	金	本会議(一般質問)
	8	火	本会議(個人総括質疑)
	10	木	本会議(会派代表質問)
3	11	金	総務建設常任委員会 教育民生常任委員会
	16	水	総務建設常任委員会
	17	木	教育民生常任委員会
	18	金	総務建設常任委員会
	22	火	教育民生常任委員会
	25	金	本会議 (委員長報告・討論・採決)

次回、3月定例会は左表のとおりです。会議はいつでも午前9時から開会します。また、本定例会の運営を協議する議会運営委員会は2月18日に開催する予定です。日程が変更になる場合もありますので、詳細は議会事務局にお問い合わせください。

次回定例会のお知らせ

なお、意見交換会のテーマは今後、ホームページなどでお知らせします。また、新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止とすることがあります。

■場 所 町文化会館(3階会議室)

■日 時 5月20日(金)午後7時

町議会では、議会基本条例に基づき、「広く町民の声を聴く議会」「町民とともに歩む議会」「町民参加を基本とする開かれた議会」を目指し、町民と議会との意見交換会を次の日程で開催します。

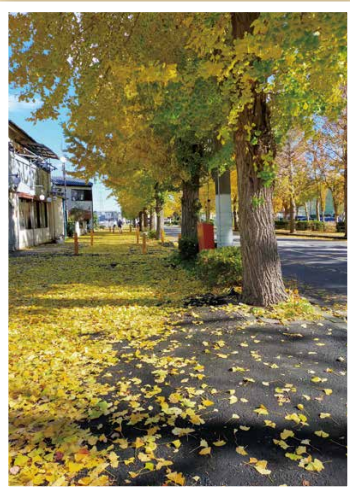
意見交換会を実施します

町の風景 再発見

議員が撮影した とっておきの一枚！

議会だより第170号に掲載したアンケートで、今後の表紙についてお伺いしたところ、もっとも多かったのが「町の風景」という回答でした。

これを受け、今号は議員が町内の魅力的な場所や印象的な風景を撮影したものです。



イチヨウのじゅうたん(内陸工業団地)



かりんの実ひとつ残して冬至かな(角田)



ベランダから見える満月(中津)



役場前イルミネーション



平山橋付近から上がる大輪の花火(田代)



第1号公園トリム広場(中津)

◎議会クイズは13ページに掲載しています。

委員 井上 博明
委員 小島 正樹
委員 山中 敬一
委員 井出 崇子
委員 小林 隆之
委員 熊坂 隆之
委員 阿部 孝之
委員 玉利 敦子
委員 茅 孝之
副委員長 岸上 敦子
委員長 廣報広聴常任委員会

今号は、昨年11月の改選で決定した新たなメンバーによる最初の議会だよりになります。表紙は「町の風景」をテーマに、議員が町内の穴場的なスポット等を探して写真を撮影し、愛川町の美しい「水」と、春を連想させる桃と菜の花を配置して構成したものです。委員会では、議会だよりの本文や見出しの検討をはじめ、クイズの作成や今後に向けた反省など、さまざまな話し合いを行っています。これからも皆さまに親しみを持っていただけるような議会だよりを作るため、より一層の工夫を凝らし、努力してまいります。

編集後記